

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	当初	事項	感染制御学講座設置事業費							予算主管課	健康増進課
		事業概要	感染症分野における専門医療人材（医師・看護師等）の育成や、医師会・医療機関等と連携した本県の感染症医療対策の充実強化を図るため、愛媛大学に寄附講座「感染制御学講座(仮称)」を設置する。							始期	R5
										終期	R9
	K P I	感染症専門医の養成数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R1～R4年度	時点・期間	R5～R5年度	時点・期間	R5～R6年度	時点・期間	R5～R7年度	時点・期間	R5～R8年度
		現状値	0 人	目標値	2 人	目標値	2 人	目標値	2 人	目標値	2 人
				実績値	0 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
				達成率	0.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	37,600 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		37,600 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>感染症専門医の養成は、所定の研修（感染症学研修6年以上行い、その内3年間は学会指定の施設で研修）を修了し受験する必要があることから、今年度は研修終了者がいなかったため未達成となった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>専門医師育成には所定の研修を修了し試験に合格する必要があるため、5年度は受験対象者がいなかったため、KPIを達成できなかった。6年度は2名が受験予定者であるため、KPIは目標達成すると考えられ、今後も専門医育成には継続した事業が必要であることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。</p>								
2	当初	事項	感染症対応連携体制強化事業費							予算主管課	健康増進課
		事業概要	新興感染症発生時の医療提供体制を構築するため、医療機関との協定を締結するとともに、連携協議会を設置し、連携強化を図る。							始期	R5
										終期	R6
	K P I	患者対応が可能な医療機関の割合（入院対応医療機関）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R1～R4年度	時点・期間	R1～R5年度	時点・期間	R1～R6年度	時点・期間		時点・期間	
		現状値	35.8 %	目標値	38.3 %	目標値	40.8 %	目標値	%	目標値	%
				実績値	64.2 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	167.62 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	6,400 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		1,711 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>新興感染症に対応する医療機関との協定締結は6年度中を予定していること、新興感染症対応については、感染症対策連携協議会で引き続き関係機関との連携強化を図る必要があることから、6年度の執行方法の見直しは想定していない。</p>								

3	当初	事項	新型インフルエンザ等対策事業費							予算主管課	健康増進課
		事業概要	今後発生が予想される新型インフルエンザ等の対策強化を一体的に行い、感染拡大を可能な限り抑制する。							始期	H25
	K P I	患者対応が可能な医療機関の割合（入院対応医療機関）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R1～R4年度	時点・期間	R1～R5年度	時点・期間	R1～R6年度	時点・期間	R1～R7年度	時点・期間	R1～R8年度
		現状値	35.8 %	目標値	38.3 %	目標値	40.8 %	目標値	43.3 %	目標値	45.8 %
				実績値	64.2 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	167.62 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	1,379 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
		決算額	566 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>R5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、限られた医療機関による特別な対応から、幅広い医療機関による通常の対応への移行を進めたため、達成率が100%を超える結果となった。なお、R5年度の実績値は、事前調査等の結果から、新興感染症対応のために締結する医療措置協定のうち、病床を確保する医療機関の見込み数（R6.2.22時点）としている。（実際の協定締結はR6年度中）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））							新興感染症に対応する医療機関との協定締結は6年度中を予定していることや、新型インフルエンザ等対策については、抗インフルエンザ薬の備蓄など必要な措置を継続することが重要であるため、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。	

4	2月 補正	事項	新型コロナウイルス検査体制強化事業費							予算主管課	健康増進課
		事業概要	新型コロナウイルス感染が疑われる発熱患者の増加が想定されるため、医療提供体制の維持や負担軽減を目的に、各医療圏で適切な行政検査が実施できる体制を継続するとともに、検体採取及び検査体制の強化を図る。（松山市を除く）							始期	R2
	K P I	ゲノム解析数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	52.4 件	目標値	100 件	目標値	件	目標値	件	目標値	件
				実績値	30 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件
				達成率	30.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	158,001 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
		決算額	98,772 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>令和4年度は行政検査の残余検体でゲノム解析を行っていたが、5類移行後は行政検査が終了したことから、新型コロナウイルス感染症患者の検体確保に苦慮した。医療機関に依頼し、入院患者を中心に検体確保を行っていたが、5類移行前と比べて患者数及び入院患者数は減少したことから、未達成となった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p> <p>医療提供体制の維持や負担軽減を目的に、各医療圏で新型コロナの行政検査が実施できる体制を継続するとともに、検体採取及び検査体制の強化を図ることができた。また、新型コロナの5類移行後も県内の新型コロナの変異株の発生動向の把握を行うことを目的にゲノム解析を実施しており、R6年度も引き続き保健所から医療機関への働きかけにより検体を確保していく。</p>									
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））								

5	2月 補正	事項	新型コロナウイルス感染症保健所体制強化事業費								予算主管課	健康増進課			
	事業 概要	保健所が実施する新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査や患者の医療機関等への移送のほか、自宅療養者への健康観察等の感染症対策の強化を行い、感染症のまん延を防止するとともに感染症患者の療養体制を確保する。									始期	R2			
											終期	R5			
	K P I	日平均クラスター発生数													
		KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度		
		時点・期間	R4.10～R5.2	時点・期間	5/7/2023		時点・期間			時点・期間			時点・期間		
		現状値	4 件	目標値	4 件		目標値	件		目標値	件		目標値	件	
				実績値	0.3 件		実績値	件		実績値	件		実績値	件	
				達成率	1,333.33 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
		コスト		最終現計予算額	169,848 千円			最終現計予算額	千円			最終現計予算額	千円		
決算額	150,770 千円			決算額	千円			決算額	千円						
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）													
	見直し方向性	<p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p> <p>保健所が実施する新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査や患者の医療機関等への移送のほか、自宅療養者への健康観察等の感染症対策の強化を行い、感染症のまん延を防止するとともに感染症患者の療養体制を確保することができた。</p> <p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p>													

6	2月 補正	事項	新型コロナウイルス感染症対応医療機関体制強化事業費								予算主管課	健康増進課			
	事業 概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、県内の相談体制の強化、医療従事者等に対する医療提供体制の確保を図る。									始期	R2			
											終期	R5			
	K P I	新型コロナウイルス感染症陽性者の入院受入医療機関数													
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度		
		時点・期間	R1～R4年度	時点・期間	R1～R5年度		時点・期間			時点・期間			時点・期間		
		現状値	35.8 %	目標値	38.3 %		目標値	%		目標値	%		目標値	%	
				実績値	64 %		実績値	%		実績値	%		実績値	%	
				達成率	167.10 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
		コスト		最終現計予算額	3,106,150 千円			最終現計予算額	千円			最終現計予算額	千円		
決算額	2,176,211 千円			決算額	千円			決算額	千円						
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）													
	見直し方向性	<p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p> <p>R5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、限られた医療機関による特別な対応から、幅広い医療機関による通常の対応への移行を進めたため、達成率が100%を超える結果となった。また、医療機関には病床確保料や設備整備料、医療従事者には応援手当などを補助することにより、県内の安定的な医療提供体制を構築することができた。なお、R5年度の実績値は、事前調査等の結果から、新興感染症対応のために締結する医療措置協定のうち、病床を確保する医療機関の見込み数（R6.2.22時点）としている。（実際の協定締結はR6年度中）</p> <p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p>													

7	2月 補正	事項	新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業費							予算主管課	健康増進課
		事業 概要	新型コロナウイルスワクチンの接種を円滑に推進するため、接種に係る進捗管理及びワクチンの配分調整等の市町支援、専門的な相談体制の構築及び接種促進支援事業の実施など予防接種の実施体制の整備を行う。							始期	R3
										終期	R5
	K P I	新型コロナウイルス接種率(県全体、高齢者人口ベース)									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	2023/2/20	時点・期間	R 5 年 度	時点・期間	—	時点・期間	—	時点・期間	—
		現状値	72.3 %	目標値	53.7 %	目標値	— %	目標値	— %	目標値	— %
				実績値	47.8 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	89.01 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト	最終現計予算額	227,366 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		213,031 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 令和5年度秋開始接種は、国の方針により、高齢者の方も含めて健常者は努力義務の対象外となったこと、また、コロナウイルスが5類に移行し少しずつ社会活動が再開するなか、感染への警戒感が薄れたことや、感染の主流となるいわゆる流行株が重症化リスクの高い株から比較的重症化リスクの低いオミクロン株へ置き換わりが進んだこと等が接種への意識の低下につながり、結果として接種率低下に結びついたと考えられる。さらに、接種率のデータ集計に関して、松山市の接種率が国のデータに一週間遅れて反映されていたため、全国と比べて本県の接種率が低く表示されている点も留意する必要がある。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。） 新型コロナウイルスワクチンの接種を円滑に推進するため、接種に係る進捗管理及びワクチンの配分調整等の市町支援、専門的な相談体制の構築及び接種促進支援事業の実施など予防接種の実施体制の整備を行ったことにより、対象者の約半数が接種を行うなど、感染症の予防を推進することができた。</p>									
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））									

8	当初	事項	新型コロナウイルス感染症精神科医療機関受入体制強化事業費							予算主管課	健康増進課
		事業 概要	精神疾患を有する新型コロナ患者の受入体制を強化するため、県内精神科医療機関が連携して、応援看護師の派遣体制を構築する。							始期	R3
										終期	R5
	K P I	登録精神科病院数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R 5 年 度	時点・期間		時点・期間		時点・期間	
		現状値	15 病院	目標値	19 病院	目標値	病院	目標値	病院	目標値	病院
				実績値	15 病院	実績値	病院	実績値	病院	実績値	病院
				達成率	78.95 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト	最終現計予算額	5,092 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		0 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行したことももあり、精神科医療機関への応援看護師派遣実績がなかったことによるもの。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。） 精神科医療機関が連携した応援看護師の派遣体制を構築したことで、感染拡大時においても県内の精神科医療機関において安定的な医療提供体制を維持することができた。</p>									
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 見直し時期（執行に反映するか、次年度予算※R5年度事業評価の場合、R7年度予算に反映するか）も記載									

9	2月 補正	事項	新型コロナウイルス感染症医療提供体制確保事業費							予算主管課	医療対策課
		事業概要	県内の医療提供体制を確保するため、新型コロナウイルス感染症の中等症患者等の受入のための病床を拠出する協力医療機関や、転院を受入れた医療機関等に対する協力金の支給等を行う。							始期	R2
			重点医療機関等の確保病床数							終期	R5
	K P I	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間		時点・期間		時点・期間	
		現状値		目標値	520 床	目標値	床	目標値	床	目標値	床
				実績値	464 床	実績値	床	実績値	床	実績値	床
				達成率	89.23 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計予算額	5,631,262 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
			決算額	5,301,449 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 新型コロナの5類以降に伴い、確保病床によらない入院受入れ体制の構築が求められたため。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。） 県医師会や郡市医師会、県下の医療機関等と連携し、一般医療への影響を最小限に留めるよう配慮しながら、必要なコロナ病床の確保を図ることができた。</p>									
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））									

10	2月 補正	事項	新型コロナウイルス感染症宿泊施設確保事業費							予算主管課	医療対策課
		事業概要	中等症や重症患者に対し医療資源を有効に活用するため、感染者の大半を占める軽症患者を隔離宿泊させる施設を確保する。							始期	R2
			宿泊療養施設の室数							終期	R5
	K P I	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間		時点・期間		時点・期間	
		現状値		目標値	379 室	目標値	室	目標値	室	目標値	室
				実績値	62 室	実績値	室	実績値	室	実績値	室
				達成率	16.36 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計予算額	45,294 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
			決算額	45,289 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 新型コロナの5類移行を踏まえ、宿泊療養施設を1施設に集約(令和4年度は5施設)したことから、室数が減少した。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。） 軽症患者が宿泊する施設を確保することにより、中等症や重症患者に対し医療資源を有効に活用することができた。</p>									
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））									

11	2月 補正	事項	県立病院医療提供体制強化等緊急対策費負担金								予算主管課	医療対策課	
		事業 概要	新型コロナへの対応において中心的な役割を担う県立病院の感染症病棟の清掃・消毒等を業務委託することにより、感染者増加により負担が増加している看護師の業務省力化を図り、医療提供体制を維持する。									始期	R3
												終期	R5
	K P I	新型コロナ入院患者を受け入れる県立病院の数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間		時点・期間		時点・期間			
		現状値	4 病院	目標値	4 病院	目標値	病院	目標値	病院	目標値	病院		
				実績値	4 病院	実績値	病院	実績値	病院	実績値	病院		
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%		
		コスト		最終現計予算額	108 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
	決算額			108 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）											
		総括（事業最終年度の場合、要記入。） 新型コロナ対応における県立病院の医療提供体制を維持することができた。											
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））										